# 高蔵寺ニュータウンのセンター地区を題材とした、 第21回 2018 年「まちづくり・都市デザイン競技」の 春日井市長特別賞表彰式・記念シンポジウムを開催します

#### 1 目 的

平成30年(2018年)9月から平成31年(2019年)2月にかけて、「第21回2018年まちづくり・都市デザイン競技」(主催:まちづくり月間全国的行事実行委員会、公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンター、後援:国土交通省、春日井市)が開催され、

高蔵寺ニュータウンのセンター地区の将来像(10~20 年後)を描いた、計 33 点の作品の応募があり、主催者による審査委員会を経て、令和元年5月に国土交通大臣 賞始め春日井市長特別賞など、5つの賞の受賞者が決定されました。

このたび、春日井市主催により、本競技を記念した「春日井市長特別賞表彰式・記念シンポジウム」を開催し、大学教授による基調講演や受賞者を交えたパネルディスカッションを行うことで、高蔵寺ニュータウンのセンター地区を題材としながら、まち全体のあり方について考え、全国へ高蔵寺ニュータウンのまちづくりを発信します。

#### 2 日時、場所等

- (1) 日時 令和元年(2019年)7月13日(土) 13:30~15:40
- (2) 場所 東部市民センター ホール
- (3) 定員 400人

※内訳:関係団体等 250 人(事前応募制) 一般市民 150 人(当日先着順)

#### 3 実施内容等

13:30 開会

13:30~13:40 市長あいさつ

13:40~13:50 春日井市長特別賞表彰式

13:50~14:20 基調講演

「都市デザインから考える高蔵寺ニュータウンのセンター地区の将来像 ~デザイン競技応募者たちから見た都市デザインのアプローチ~」 講師 神戸芸術工科大学 西村 幸夫 教授

14:20~14:30 休憩

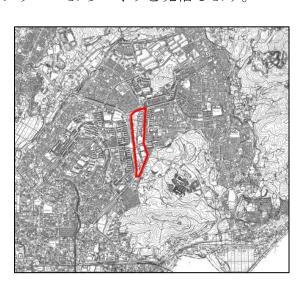
14:30~15:40 パネルディスカッション コーディネーター 西村教授 パネリスト 各受賞団体 計5団体

#### 4 第 21 回 2018 年まちづくり・都市デザイン競技の経過

平成30年(2018年)6月 対象地区の公募(全国から1か所)

7月 対象地区に高蔵寺ニュータウンのセンター地区を選定

9月 競技開始(次頁参照)



第21回 2018年

高蔵寺ニュータウンの将来から創造する センター地区の都市デザインやアイデアの創出

知県 春日 井 市

応募登録期間 2018年 9月 3日(月)~12月10日(月) ※現地説明会参加希望者・質疑提出希望者は 10 月 11 日(木)まで

応募登録料 4,000円

現地説明会 2018年10月23日(火)

質疑受付期間 2018年10月23日(火)~10月30日(火)

質疑応答書公開 2018年11月20日(火)頃

提 出 締 切 2019年 2月15日(金) 17時必着

2019年 5月予定 発 表

表 彰 2019年 6月(まちづくり月間期間内)

委員長 西村幸夫(神戸芸術工科大学教授) 查 委 員

石川 幹子(中央大学教授) 委 員

岸井隆幸(計量計画研究所代表理事、日本大学特任教授)

高見公雄(法政大学教授)

----------**--**

藤本 昌也(建築家)

渡邉 浩司(国土交通省都市局市街地整備課長)

伊藤 太(春日井市長)

国土交通大臣賞〈賞状及び賞金 50 万円〉 1点 まちづくり月間全国的行事実行委員会会長賞〈賞状及び賞金 25 万円〉 1点 (公財)都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞〈賞状及び賞金 15 万円〉 1 点 奨励賞〈賞状及び賞金10万円(各1点につき)〉 2点以内 春日井市長特別賞〈賞状及び記念品〉 1点

詳細は事務局HP「デザイン競技」内の応募要領等をご覧ください http://www.udc.or.jp



国土交通省/春日井市 がくり月間全国的行 行事実 行委員会 事務局 |/公益財団法人 都市づくりパブリックデザ 公益財団法人 都市づくりパブリックデザインセンタ セン



#### 繋げる マスタープランを未来に繋ぐまち

ワンセンターや歩行者デッキによるまちづくりを知的資産として継承周辺地域と共に全体が生命体として成長する新たな都市モデルを提案

### 脈う オープンコミュニティに沿道のにぎわいをプラス

- ・既存団地の約2/3をカバーする半径800mの徒歩圏に日常生活機能をコン パクトに集約した賑わいの街 高蔵寺DOWN TOWN (都市核)
- ・JR高蔵寺駅と直結する未来の交通システムプロムナードバス ・ランドマーク性を高める生態的なイメージの半透明屋根 BIO TUBE
- ・ 徒歩圏内に市の賑わいを おしゃれな高齢者が集まるオープンマルシェ
- ・人/モノ/サービスを消滅してニュータウンや信む地域を走り回る 高蔵寺ターレ



# 住う・働く ソーシャルミックスによる職住近接の住まい

- ・ 団地 日曜日を探側・エバータ・仕事場・集会場のあるソーシャルコレクティブ住宅 こ改修
- ・高蔵寺DOWN TOWNには商業・生活支援付きの**複合住宅棟**を集中整備・コミュニティコア(サブ核)には**賑わい・文化・医療福祉拠点**を設置
- ・戸建て空家を活用した子育で用賃貸住宅やグループホーム事業の実施 ・ スマートウェルネスエリアには後期高齢者の激増に対応した大規模福祉施設を整備
- ・就労生活支援イベントなどの情報受発信基地となる高蔵寺ブラットホームの保設

## 巡る 人と食とエネルギーが循環するガーデンシティ

- ・ゲートウェイ(都市の額)には明るいサンクンガーデンとウェルカムセンターを設置
- ・自然豊かな周辺の里山地域を巡るサイクリングコースを整備して観光資源化
- ・高蔵寺ターレでDOWNTOWNから人・モノ・サービスを運び、周辺と一体となったガーデンシティをプロモート

#### 育くむ 農とものづくりが盛んな子育てのしやすいまち

- ・地域全体でのオーガニック農産品や陶器・木工芸のブランド開発
- ・小さくても世界と直接つながる**まちの職人ネット**でものづくりを推進 ・ソーシャルコレクティブ住宅づくりを推進し**若者の定住**を促進

